

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ

第39号

平成20年12月1日

発行 学校法人 東京聖徳学園 〒108-0073 東京都港区三田3-4-28 TEL.03-5476-8811(代)



聖徳学園ホームページ http://www.seitoku.jp/

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属高等学校
- 聖徳大学附属聖徳高等学校
- 聖徳大学附属中学校
- 聖徳大学附属聖徳中学校
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学附属第三幼稚園
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳学園多摩中央幼稚園

SEITOKU FLASH 聖徳フラッシュ

主なトピックス

- ・ 聖徳学園創立75周年記念事業 和香庵 茶席披露
- ・ 2009年4月新設 教職大学院スタート!
- ・ 聖徳学園創立75周年記念講演 特別講演会「源氏物語千年に思う」 冷泉 貴美子 先生
- ・ 人間栄養学研究科 「給食くん」大人気!!
- ・ 学園創立75周年記念 第44回 聖徳祭 聖徳大学・聖徳大学短期大学部
- ・ 聖徳にこにこまつり 幼児教育専門学校
- ・ 第49回 マーチングバンド・バンド・バンド・バンド 4年ぶり、希望の出演 附属中学校・高等学校
- ・ 昭和の時代を体験 4年生社会科見学 附属小学校
- ・ クリスマスは本当のサンタクロース?! 三田幼稚園
- ・ 平成20年度 冬期SOA公開講座のご案内

INDEX

学園	1~2
大学院・大学・短大	2~4
幼児教育専門学校	5
附属中・高	2・5
聖徳中・高	5
小学校	6
幼稚園	6~7
インフォメーション	8

より豊かな未来に向け ISO 認証を更新

聖徳学園は、平成15年11月に日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。

その後も、高品質でより良い教育を可能にするシステムと地球環境を守る管理システムを継続した結果、平成18年11月に認証を更新しました。国際機関の定めた規格を高いレベルで更新したことにより、聖徳学園は次の高みに向けて新たな活動を展開します。

ISO 9001
(教育の質マネジメントシステム)

ISO 14001
(環境マネジメントシステム)

ご意見・ご感想募集「聖徳フラッシュ」は皆さんの広報誌です。本紙に関するご意見・ご感想を下記サイトに受け付けております。
<http://www.seitoku.jp/gakuen/toiwase/>
「その他のご意見・お問い合わせ」まで

聖徳学園創立75周年記念事業

聖徳大学音楽学部オペラ「魔笛」公演を終えて (サントリーホール大ホール)



聖徳学園創立七十五周年を記念して、九月二十八日(日)サントリーホール大ホールにて、聖徳大学音楽学部オペラ「魔笛」が上演されました。本年は音楽学部が開設された年でもあり、学部に上げてオペラ公演の成功に向け取り組んでまいりました。

当日は、学園長をはじめ、ご来賓の皆様、後援会の皆様、各学部・各学科の諸先生方、学園各所の諸先生方と聖徳学園に関係するたくさんの方々にご来場いただきました。

開演前よりホール前広場はたくさんのお客様で溢れ、ロビーでは先生方と卒業生のにわかな同窓会も開かれておりました。

「魔笛」は、高橋大海学部長の指揮のもと、聖徳大学川並記念オーケストラの演奏による序曲で開幕し、歌手陣はそれぞれに素晴らしいオーケストラに導かれ最高の演奏をするこことができました。

出演の歌手陣は聖徳大学教員、大学院生であり、日本を代表するオペラ歌手として新国立劇場やオペラ団体で活躍されている実力者揃いです。

ドイツ語の台詞上演でしたが、お客様も理解されコミカルな場面では笑いが出るなど暖かい雰囲気での舞台は進みましました。一幕、二幕そしてフイナルでは、演奏学科声楽コース学生の合唱がオーケストラとソリストに加わり、荘厳な中にオペラの幕を閉じることができました。

カーテンコールではお客様からのたくさんの拍手と、ブラヴォーの声をいただき、お客様も理解されコミカルな場面では笑いが出るなど暖かい雰囲気での舞台は進みましました。一幕、二幕そしてフイナルでは、演奏学科声楽コース学生の合唱がオーケストラとソリストに加わり、荘厳な中にオペラの幕を閉じることができました。

教職大学院 2009年4月新設 スタート!

聖徳大学大学院教職研究科教職実践専攻(教職大学院)では、幼児に特化し、日本で唯一となる「幼児教育コース」と、児童に特化した「児童教育コース」の2コースを開設します。「保育の聖徳®」として保育・幼児教育・初等教育分野で培ってきた創立以来の伝統を生かし、実践的かつ専門性の高い学習を提供します。また、現職教員が勤務と両立させて、無理なく学習に取り組めるよう、授業を昼・夜開講とし、同時に長期履修学生制度(3年または4年)も用意しています。

- 子どもと地域に根ざした「幼児教育」と「児童教育」の実践的力を持った教育者を育成
- 生徒指導と学級経営・学校経営を軸とした実践的な研究領域
- 理論と実践、授業+実習で実践的な知識を身につける

お問い合わせ先: 入学センター
0120-66-5531

2009年4月新設 **聖徳大学大学院** 教職大学院
教職研究科 教職実践専攻 幼児教育コース・児童教育コース
入学定員: 30名(共学)

もっと、もっと、良い先生になろう

2009年4月新設

聖徳大学大学院 教職大学院
教職研究科 教職実践専攻 幼児教育コース・児童教育コース
入学定員: 30名(共学) 0120-66-5531



和香庵 茶席披露

大学一号館の改築工事に伴い、移築工事が進められていた茶室「和香庵」が装いを新たに新一号館五階に完成し、施設全体が「聖徳堂」新たに付設された作法室が「楽修軒」とその名称も決定されました。「聖徳堂」「楽修軒」の名称は、昭和五十七年に「和香庵」と命名していただいた茶道裏千家第十五代家元 鵬雲斎玄室 宗匠に今度も命名していただきました。

副理事長・副学園長をはじめ、学園関係の大勢の方々にご臨席いただきました。

午前十一時より新一号館五階の「聖徳堂」入口において、鵬雲斎玄室 宗匠、川並弘昭理事長、川並知子園長により扁額「聖徳堂」の除幕式、続いて「楽修軒」のテープカットが滞りなく行われました。その後、「楽修軒」で行われたお茶会は、大匠より「本日は、大変おめでたいお席ですので、私が初点をいたしましたし、お言葉をお聞かせください、大匠のお点前による初点が行われました。お茶会では、大匠が自ら制作された「養生」と命名された茶料の説明や、当日のお茶席のスタイルである立礼式



十月七日(火)に行われた「茶席披露」には、茶道裏千家第十五代家元 鵬雲斎玄室 宗匠をお招きし、京都の名匠 匠山本隆章 棟梁、川並弘昭 理事長・学園長、川並弘純



茶道裏千家第十五代家元 鵬雲斎玄室 宗匠



「魔笛」は、高橋大海学部長の指揮のもと、聖徳大学川並記念オーケストラの演奏による序曲で開幕し、歌手陣はそれぞれに素晴らしいオーケストラに導かれ最高の演奏をするこことができました。

出演の歌手陣は聖徳大学教員、大学院生であり、日本を代表するオペラ歌手として新国立劇場やオペラ団体で活躍されている実力者揃いです。

ドイツ語の台詞上演でしたが、お客様も理解されコミカルな場面では笑いが出るなど暖かい雰囲気での舞台は進みましました。一幕、二幕そしてフイナルでは、演奏学科声楽コース学生の合唱がオーケストラとソリストに加わり、荘厳な中にオペラの幕を閉じることができました。

カーテンコールではお客様からのたくさんの拍手と、ブラヴォーの声をいただき、お客様も理解されコミカルな場面では笑いが出るなど暖かい雰囲気での舞台は進みましました。一幕、二幕そしてフイナルでは、演奏学科声楽コース学生の合唱がオーケストラとソリストに加わり、荘厳な中にオペラの幕を閉じることができました。

お客様も理解されコミカルな場面では笑いが出るなど暖かい雰囲気での舞台は進みましました。一幕、二幕そしてフイナルでは、演奏学科声楽コース学生の合唱がオーケストラとソリストに加わり、荘厳な中にオペラの幕を閉じることができました。

カーテンコールではお客様からのたくさんの拍手と、ブラヴォーの声をいただき、お客様も理解されコミカルな場面では笑いが出るなど暖かい雰囲気での舞台は進みましました。一幕、二幕そしてフイナルでは、演奏学科声楽コース学生の合唱がオーケストラとソリストに加わり、荘厳な中にオペラの幕を閉じることができました。

本年は、本学園が創立されて七十五周年であり、また、「源氏物語」が記録されて千年を迎えた年でもあります。これらを記念し特別展覧会「源氏物語千年紀―王朝文化の世界―」展を開催しております。

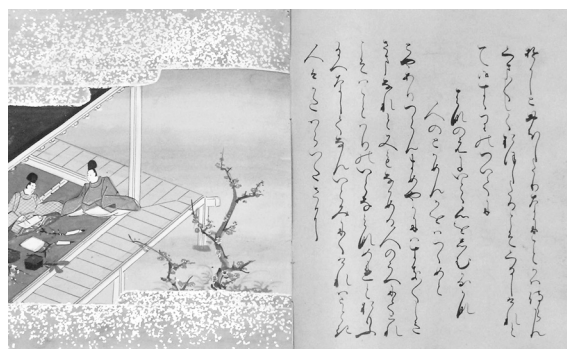
紫式部によって創作された「源氏物語」は、平安時代前・中期の宮廷生活、世相を描写した五十四帖からなる、世界最古の長編小説といわれています。その完成年は不明ですが、「紫式部日記」の寛弘五(一〇〇八)年十一月一日の条には、「若紫

源氏物語千年紀 ―王朝文化の世界―

聖徳学園創立七十五周年記念特別展覧会

「源氏」の記述があり、この頃には、すでに物語が読まれていたことがわかります。本特別展の展示内容は、「源氏物語」(鎌倉時代写本重文)、「源氏物語古註」(鎌倉時代)、「光源氏系図」(室町時代)、近世の大名家の嫁入本といわれる写本や「源氏物語」が広く読まれる元となった版本類など二十四件の資料を展示して、はなやかな王朝文化の一端を紹介しております。

本特別展は、本学での開催に先がけて、新宿紀伊國屋本店四階の紀伊國屋画廊



「源氏物語」奈良絵本



「源氏物語」嫁入本 江戸時代中期

で十月九日(木)〜十月十四日(火)まで公開いたしました。新宿という土地柄もあり、年配者だけでなく、多くの若者が見学に訪れて、好評裡に終了しました。

今後も、聖徳大学クリスタルホールのギャラリーで十二月二十日(土)まで、「源氏物語千年紀―王朝文化の世界―」展を開催しております。



冷泉貴実子先生

この特別講演会は、聖徳学園創立七十五周年を記念して、源氏物語千年紀委員会及び朝日新聞社の後援で開催されました。今年も源氏物語千年紀に当たり、講演会の聴講申込は、募集開始後直ちに



十月二十二日(水)午後二時〜三時半まで、浜離宮朝日ホールにて「源氏物語千年紀に思う」と題して、冷泉家時雨亭文庫常務理事の冷泉貴実子先生にご講演をいただきました。



山口博先生

この特別講演会では、聖徳学園創立七十五周年を記念して、源氏物語千年紀委員会及び朝日新聞社の後援で開催されました。今年も源氏物語千年紀に当たり、講演会の聴講申込は、募集開始後直ちに

定員(四百名)に達し、後半に申し込まれた方には聴講をお断りする事態になるほどの人気でした。当日は、開館前から多くの聴講者が列をつくり、会場は源氏物語愛好家の熱気で溢れていました。川並弘昭理事長の学園創立七十五周年についての挨拶の後、冷泉先生の招聘に当たった本学言語文化研究所長の山口博先生による講演者紹介があり、ご講演が始まりました。ご講演は、源氏物語の内容や紫式部の逸話だけではなく、平安時代の歴史や風俗、そして中国と日本の関係にも触れ、源氏物語愛好家はもろろん初心者にもわかりやすい内容でした。聴講者は冷泉先生の風格・話術に魅せられ、笑い声が絶えず、源氏物語の勉強にもなり、和やかな気持ちにもなる、有意義な特別講演会でした。

最後に司会を務めた日本文化学科長の林典史先生から「源氏物語はこれから千年後も語り継がれます。私達は二千年紀には参加できませんが、学園はこれからもより発展していきます」との挨拶があり、学生による花束贈呈も行われました。また、会場には重要文化財指定の源氏物語写本の複製が展示されました。聴講者は講演終了後に閲覧し、展示物についての質問を山口先生や図書館関係者に寄せるなど、講演会は盛況の中で終了しました。

香和会 大学・短大同窓会

秋は、香和会の支部パーティーの季節です。全国七支部が、九月〜十二月までの約四ヶ月間に、九月七日(日)札幌「北海道・東北支部」、九月十四日(日)長岡「北陸上信越支部」、九月二十一日(日)甲府「甲州・中部・東海支部」、十月十二日(日)聖徳大学「松戸・南関東支部」、十月二十五日(土)那覇「九州沖縄支部」、十二月六日(土)京都「近畿・中国・四国支部」、十二月十四日(日)さいたま市「北関東支部」と支部パーティーを開催いたします。

今年の支部パーティーの一部をご紹介します。九月六日(土)札幌ランドホテルで開催された、北海道・東北支部パーティー「石川優子支部長」は、北海道で二回目のもので、川並弘昭学長、川並弘純副理事長、川並孝純事務局長、長江曜子会長、飯塚幸子相談役も東京から駆けつけ、中学生一名を含め十八名で行われました。笑顔一杯の久しぶりの再会を喜びあい、「未来を咲かせるチカラ」(DVD)を鑑賞、七十五周年の歴史と共に発展する二十一世紀の「聖徳



9月14日(日) 長岡【北陸・上信越支部パーティー】

附属中学校・高等学校 全国高等学校総合文化祭 群馬大会書道部門 千葉県代表出場 6A 山田千穂さん(附属中学校出身)

全国高等学校総合文化祭群馬大会書道部門は八月八日(金)から九日(土)にかけて群馬県庁県民ホールと前橋グリーンドームにおいて開催されました。

山田さんは平成十九年度十一月に開催された千葉県高等学校文化祭書道作品展において千葉県代表に選出され、その後全国総合文化祭群馬大会に向け、八尺×三尺の大作に隷書作品で挑んできました。作品制作の構想は昨年十二月より開始し、二月〜三月にかけて草案作り、その後清書に入り、四月に千葉県高等学校文化連盟に提出、表装業者による作品の表装作業・作品写真の撮影の後、六月下旬に完成しました。

今回の作品は高校入学前から臨書活動に取り組んできた、後漢時代の「曹全碑」の書風による「赤壁賦」の詩文を細字で書き上げた隷書の大作です。表現意図は整然とした構成の中に曹全碑の書風を組み入れ、江戸時代の能書家の巻菱湖の表現を追ったものです。

展示会場では全国から集まった多くの高校生の作品の中でも、緻密な労作と丹念な仕上がりに観覧の人々の注目を集め、高い評価を得ることができました。

また全国総合文化祭の会期中に開催された全国から集まった生徒同士の「高校生集いの交流会」では、群馬県特産の高崎だるまに自分の目標を書き表現する活動や意見交換も行われ大いに充実した書活動となりました。

今回の展示作品は、この秋の千葉県高等学校文化祭期間中に千葉県美術館に二週間展示されました。



各都道府県代表生徒との交流会

総合文化学科

第四十六回

全国ファッションデザインコンテスト

奨励賞(一般部)入選



入選のデザイン画

今回入選した沖宗沙織さんは、総合文化学科の一年生で、ファッションデザイン画の授業を受けています。授業では毎年全国ファッションデザインコンテストに向けた課題を作成しており、総合文化学科と



入選した沖宗沙織さん

しては、今年を含めて四年連続で入選するという快挙を成し遂げております。

沖宗さんは、今回インディアンの先住民をイメージしたファッション画を作成しました。製作中には、特に考えながらデザインするのでなく、自分の感性を大切に、デザイン中にはできるだけ筆をキャンバスから離さずに、筆にまかせてデザインする事を心がけています。(沖宗沙織さんより)

第四十六回全国ファッションデザインコンテストにおいて総合文化デザインブランチの沖宗沙織さんが見事、奨励賞に入選しました。このコンテストは回を重ねるごとに応募者とレベルの向上が見られ、今回の応募総数は約二千点です。特に

ファッションデザイン画の授業では毎回テーマを自由に設定しています。デザイン発想の基となるイメージソースを見つけ出し、そこからデザインを発展させていきます。今回の課題は自身の想像力と感性を磨き、コンクール等へ挑戦することを目的として授業を進めています。(授業を担当する 肉丸美香子先生より)

今回入選した事により、段々とデザインに自信を持ち、将来は「イラストレーター、デザイナーまたはウェブデザイナー」等のデザインにかかわる仕事に就きたい」と抱負を語っておりました。今後ますますの活躍が期待されます。

人間栄養学研究科 「給食くん」大人気!!

本学大学院人間栄養学研究科に在籍する大学院生の研究テーマである「給食くん」が、「給食を生きた教材として活用できる」と、大きな反響を呼んでいます。



永田忠博先生 諸橋智之さん



(図1)表示画面の例

大学院人間栄養学研究科の博士前期課程一年に在籍する諸橋智之さんは、市川市立大洲小学校に管理栄養士として勤務する社会人です。諸橋さんは食の安全・安心に関心をもち、学校給食のレシピや、使われる材料の製造情報を、児童や保護

者にわかりやすく伝えるネットワークを研究テーマにしています。今回は二〇〇八年十月二十日(月)から、諸橋さんの立ち上げたシステム「給食くん」を紹介し、「給食くん」は表面のタッチパネルを操作することで、当日の給食の産地、製造メー

カ、栄養素、保存方法そしてレシピなどが表示印刷できます。また過去のレシピも参照可能です。(図1) 児童からの反響は上々で、休み時間や放課後は常に行列ができています。「家でお母さんに作ってもらいたいから印刷した」「さっそく焼肉サラダを作ってもらったよ。おいしかった」「今度、松風焼きを作ってもらうんだ」の声だけでなく、「おいしかった給食のレシピを持ってきてと、お母さんに言われた」という声もあり、保護者からの要望にも応えています。

現在は産地偽装等の食の安全・安心が課題となり、文部科学省は、学校給食について「食に関する指導の生きた教材として活用できるような食品の組合せ、調理方法等を工夫すること」を求めています。このシステムを

上手に使用すれば、給食情報を家庭でも利用でき、それを継続することにより、食の安全や生産者の知識が自然に身についていくでしょう。このシステムは、つくば市の食品総合研究所で開発されたもので、保育園では使用実績がありますが、小学校への導入は初の試みです。「給食くん」をさらに使いやすいものにして、利用できる給食施設が広がるように、食品総合研究所と聖徳大学では、今後も共同研究を進めていきます。



入学センター

年内最後の入学説明会を実施します

今年も残りあとわずかとなり、冬本番!そして、いよいよ大学入試本番!というシーズンになりました。本学では大学・短大共に、年明け一月下旬より一般入試を実施しますが、直前のこの時期、受験生の皆さんは、目前に迫る入試について、多くの不安や悩みを抱えているかと思えます。そんな受験生の焦りや不安を少しでも解消するべく、入学センターでは、十二月



安を少しでも解消するべく、入学センターでは、十二月

二十一日(日)に年内最後の入学相談会を実施します。広く大学の学びや施設をご案内しているオープンキャンパスとは違い、個別の相談を中心に、専門の職員がじっくり、とことん疑問・質問にお答えします。この時期の勉強の仕方から試験当日・面接での注意点まで、受験生が少しでも合格に近づけるようアドバイスします。願書出願前の最終チェックにぜひお越しください。参加された方には、特典

入学相談会

日時 **12月21日(日)**
13:00~16:00
(入退場自由)

場所 **聖徳大学 松戸キャンパス**

として、もれなく入試過去問題集「赤本」を差し上げます。入学センター一同、受験生のご参加を心よりお待ちしております。

社会福祉士国家試験対策講座を実施

通信教育部では十月十八日(土)、十九日(日)に社会福祉士国家試験対策講座を実施しました。昨年度に続き二回目の実施となりますが、今年度も二日間で計十

四コマと集中的に実施されました。参加者も通学課程の卒業生六名を含めて、昨年度とほぼ同数の七十八名となりました。

どの学生も国家試験に向けて真剣に講義に聞き入っていました。昨年度から実施しています社会福祉士国家試験対策講座ですが、昨年度の通信教育部課程の学生の国家試験の合格者は三十五名で合格率は四十八・六%となりました。全国の平均は三十三・六%となっていますので全国

爽和会

附属中高同窓会

一期生、二期生 合同同窓会

去る七月二十日(日)に、附属高等学校食堂で二期生から三期生までの合同同窓会が行われました。一期生は五十一名、二期生は四十六名、三期生は五十名の合計百四十七名の卒業生に加えて、先生方二十五名出席していただき総勢百七十二名が集いました。(お子様を加えると二百名になりました)



高校を卒業してから初めて母校に来た人、自分のお子様を母校の附属中学校・高等学校に通わせている人もおりました。キャリアウーマンとして第一線で働いている人、主婦として子育て中の人など、それぞれの立場で活躍している皆さんもこの時ばかりは気分は高校生です。なつかしい思い出話

が尽きることはなく、会が終った後もずっと学校に残っていた人も多くいました。十年前に一期生の同窓会を行って以来、大規模な同窓会は久しぶりでしたが、今後も定期的に同窓会をし

ようという話が出ています。今回の実施はまだ未定ですが、また多くの卒業生が母校に集い、思い出に残る会ができればよいと思っています。

聖徳大学・聖徳大学短期大学部



十一月八日(土)、九日(日)に行われた第四十四回聖徳祭は、時々小雨の降る曇りの天気でしたが、学生たちの発表はそれにも負けないエネルギーが感じられ、大変活気のあるものとなりました。

今年のテーマは「あなたの手で〜It's time to begin!〜」です。ここには今回の

科・クラスやクラブ・同好会が趣向を凝らした展示や販売は、それぞれの団体の特色が生かされ、ご来校いただいた皆様も興味深くご覧になられたことと思います。

この他にも、一日目に行われたスポンジバレーボールでは、学生・教職員と学生の混合といった様々な形で作られたチームが熱戦を繰り広げ、二日目にはハンドボール・バスケットボール等の招待試合が行われ、選手たちは思い思いのプレーで試合を盛り上げていました。

学生たちは、あなたの手で〜というテーマのとおり、この二日間のために自主的・意欲的に準備に取り組み、またご来校いただいた皆様に喜んでいただけるよう努めていました。この学園祭で得た達成感、彼女らの学生生活をより有意義なものにしたことと思います。



第四十四回 保育表現研究発表会を

終えて



第四十四回保育表現研究発表会が十月四日(土)に行われました。児童学科・保育科二年生を中心とした発表により構成され、無事成功を収めることができました。

発表会当日は、保護者・先生方をはじめ、たくさんのお客様にもご来場いただき、熱い拍手を送っていただきました。二年生の演技者も本番というプレッシャーをはねのけて、各自が思い思いの演技をすることができ

ました。また、学生一人ひとりの演技に対する情熱と練習が十分に生かされ、普段の学習では体験したり、学んだりでできないことを大いに吸収できたこと

クラス内での討論・議論・厳しい練習をこなしていく過程で、ひとつの芸術作品を作り上げていく大変さや共同作業の大切さを学生たちも感じたこと



今後、学生たちは社会の中でいくつもの困難な場面に遭遇することがあると思

音楽文化学科

音楽の故郷を訪ねて 海外研修より



音楽文化学科 三年Bクラス 賀川 寛子さん

私にとって海外研修は初めての経験であり、期待と不安が入り混じった研修でした。

パリは街そのものが芸術的で至る所に古くからある建造物が残され、街を歩くだけで美術館に行ったようでした。

最初に訪れたノートルダム寺院やルーヴル美術館では一日ではとても回りきれない程の芸術に触れることができ、普通の旅行では体験することができない、貴重な経験ができた



各国でマリーアントワネットに関わる宮殿を見学しました。パリのヴェルサイユ宮殿は入口の門に金箔が使われているなど室内も絢爛豪華になっているのに対し、ウィーンのシェーンブルン宮殿は洗練された美しさがありました。

が、どちらも敷地が広大で、噴水や庭園があり、実際に人が住んでいたのだろうかと思ってしまう程でした。

ウィーンは、音楽の都にふさわしく、今後の音楽学習に良い影響をもたらす経験を沢山しました。街には著名な音楽家まつわる所がたくさんあり、モーツァルトやベートーヴェン、シューベルトなどの音楽家が実際に住んでいた家や散歩道などゆかりのある所を見学しました。

当時とは時代が違い、街並みや人々も異なりますが、窓から見える景色や散歩道を歩く事で、音楽家たちと同じ空気を感じ取れました。

この十一日間の研修旅行は、ハードなスケジュールでしたが、中身の濃い充実した経験をする事が出来ました。是非もう一度訪れてみたい。是非もう一度訪れてみたい。是非もう一度訪れてみたい。

方々を披露しました。また、普段、消火器にほとんど触る事の無い消防隊以外の教職員も実演を目にしました。

松戸市中央消防署消防司令阿部清隆様からは「このような訓練を実施することはとても有意義な事です。しかし本場に地震が発生した時には、消防車がすぐ駆けつけられることが出来ない事も考えられます。普段から災害が発生した場合に、どう行動するかを意識するように心がけてください。」

また、川並弘純副学長からは「このような実践的な訓練をスムーズに実施できた事は素晴らしいと思います。また、この施設は、災害発生時も食糧・電気を維持できる

十月三十一日(金)十二時より、松戸地区で、震度六の地震発生を想定した防災総合訓練が実施されました。

当日は、教職員だけでなく、学生も参加した実践的かつ大規模な訓練となりました。

教職員には、事前に避難時の学生誘導や救護の役割分担が決められ、その中には、負傷者や担架を担ぐ役もあり、本格的な訓練となりました。

当日は、パチパチ広場等各避難場所に学生と教職員の約二千七百名が、スムーズな誘導によって、ほぼ時間通りに避難することができ、避難訓練は無事終了しました。

避難訓練の後、消火訓練も実施され、本学自衛消防隊の職員が水消火器の使い方

を披露しました。また、普段、消火器にほとんど触る事の無い消防隊以外の教職員も実演を目にしました。

松戸市中央消防署消防司令阿部清隆様からは「このような訓練を実施することはとても有意義な事です。しかし本場に地震が発生した時には、消防車がすぐ駆けつけられることが出来ない事も考えられます。普段から災害が発生した場合に、どう行動するかを意識するように心がけてください。」

また、川並弘純副学長からは「このような実践的な訓練をスムーズに実施できた事は素晴らしいと思います。また、この施設は、災害発生時も食糧・電気を維持できる



の階からの歌声が教会内に響き、まるで天から歌声が降りそそいでくるようでとても感動しました。また、ウィーン大学の教授であるトイフルマイヤー先生の特別講義では、ウィーン古典派についてレクチャーと実技を交えて講義頂きました。またウィーン国立歌劇場でのオペラ「シモン・ボッカネグラ」鑑賞は出演者の迫力を直に感じ、他のオペラでは物足りなく感じる程でした。

また、毎年ウィーンフィルが行うニューイヤークンサートで使われる楽友協会の「黄金のホール」も見学できた事も感動しました。

幼児教育専門学校

合同運動会

十月五日(日)聖徳学園三田幼稚園との合同運動会が、港区立三田中学校にて行われました。当日は天候が心配されましたが、晴天に恵まれての運動会となりました。



学生は、マ스ゲーム・フォークダンス・綱引き等の競技に参加しました。今年のマスゲームは、オリンピック開催

聖徳に「いっしょまつり」

十一月三日(祝)、三田幼稚園と合同の「聖徳にこにまつり」が開催されました。当日は少し肌寒い天気でしたが、校内は元気な園児や学生、たくさんのお客様にぎわい熱気に溢れていました。学生は園児たちとの行事を大変楽しみにしており、責任を持って取り組み、こつこつと準備してきました。半月は



ど前から、入口のサテライトキャンパスをはじめ、校舎のあちこちにかわいいポスターが貼られ、目にするたびに待ち遠しく感じました。図画工作の授業で作成したのですが、とてもかわいく凝っており、学生の才能を感じる力作ばかりでした。各クラスで分担し、廊下や階段の飾り付けをし、一年生は教室を園児の遊びコーナーに変えて、手作りゲームで園児たちを迎え、夢のある空間になりました。児童文化IIではオリジナルの人形劇を演じ、児童文化IIIでは授業で取り組んだ紙あそびの作品を展示しました。また、手作りおもちゃや学外研修Iで挑戦した陶芸作品も展示され、授業の成果

にちなみ、黄・赤・青・緑・黒色の輪を使用しました。体育授業時間以外にも、休み時間や放課後を利用して、積極的に練習した成果を発表することができました。また、園児と一緒に踊ったフォークダンスでは、園児の間に入り、声をかけながら笑顔で楽しそうに踊る姿が見られました。今年度は、一年生全員が役員としても運動会に参加させていただきました。運動会がどのように運営・進行されているのかを直接学ぶことができました。運動会終了後、多くの学生が「事前準備の大切さや効率の良い運営方法などを学ぶことができました。今後役に立てていきたい」と感想を述べました。卒業後、このような経験を生かし、保育現場で活躍してくれることでしょう。



を十分に発揮できました。二年生も全員参加で飾り付けと当日の幼稚園のお手伝いをさせていただき、行事のあり方を学ぶことができました。学生たちは行事を通してさまざまなことを学び、現場で即戦力となる学生を育てる専門学校ならではの経験となりました。この経験が自信となり、素敵な保育者にまた一歩近づいたことでしょう。

附属中学校・高等学校

第四十三回マーチングバンド・バントワーリング関東大会 四年ぶり、待望の出場

去る十一月八日(土)に、第四十三回マーチングバンド・バントワーリング関東大会のマーチングバンド部門高等学校の部が、



今年度のマーチングバンド部は関東大会出場を目指し、年度当初から大会曲を決め、充実したショーを作り上げるべく生徒とスタッフ、また後援会の方々が一致団結して頑張りました。その甲斐あって、昨年度までの聖徳独特の和風なショーにスピード感と力強さが加わった素晴らしい

演奏が完成しました。ショーの内容が難しくなったことにより、練習は厳しくなり、困難を感じることも多かったのですが、生徒たちの頑張りや目を覚めるものがありました。夏休みもほぼ毎日練習を続け、四日間のきつい合宿を乗り越えた時には、生徒たちはまるで陸上部員のように真っ黒に日焼けしていました。

九月初旬には、ジャパンカップでお披露目となり良い手応えを得て、九月二十一日(日)千葉ポートアリーナで行われた県大会に於いて見事に金賞と関東大会の切符を手にすることができました。生徒たちの当日の演奏は気迫に満ちたもので、指揮をしていた私は感動を覚えました。会場に詰めかけた聴衆にも感動を届けることができました。彼女たちの努力と開花した能力を讃えたいと心から思っております。

小笠原流礼法「花鬘の正伝」を取得できました

花鬘の正伝という資格は、小笠原流礼法奥伝に準ずる資格です。奥伝の一つ上は準師範です。だからこそ取得するのが難しいのはいうまでもありません。松本先生のお話では、受験するだけでも有名なこと。卒業生の十パーセント以下しか取得していないとのことでした。とても高校から聖徳で礼法を学びはじめた私には、手の届かないものと思いきや、合格する方が珍しいと周りの人にも言われ、一度は

試験は、ノート、小論文、実技試験などで判定されます。合格発表の時には、見に行く勇氣がなかなか出ませんでした。合格発表を見てきてくれた友人が「早く見ておいで」と笑顔で言っていたので、内心少し期待しながら見に行くと、私の名前があったのです。受験者百二十五名の内、合格者が四十七名という厳しい試験でした。正直、喜びよりも驚きの方が大きかったです。逃げずに受験して本当に良かったと心から思いました。



聖徳中学校・高等学校

聖徳学園創立75周年記念 第26回 聖徳祭



十一月一日(土)・二日(日)の二日間、聖徳学園創立七十五周年記念第二十六回聖徳祭が開催されました。今年度は学園創立七十五周年ということもあり、学園のスローガン「夢色のたすき100年へ」(本校卒業生の作品)を念頭にテーマを「ありがとう」(四百五十二人のメッセージ)としました。ご来場いただいたお客様に普段言えない「感謝の心」を伝えようと、それぞれの団体ごとに展示や発表に「ありがとう」の気持ちを込めました。また、生徒自身もお互いに感謝の気持ちを持つて企画・運営にあたることにより、聖徳祭に参加した全て



附属小学校

聖徳祭 昔あそびをしよう

九月二十二日(月)に、地元の秋山町会・団地のお年寄りの方々に来ていただき、二年生と一緒に、こま・けん玉・めんこ・ビー玉・お手玉など昔あそびをたくさん教えていただきました。その後、児童たちの中で昔あそびが大流行し、友達と仲良く遊ぶ姿からも、とても新鮮な体験だったのだと改めて感じました。

その体験を生かして、昔あそびカードを作りました。遊んでいる時の絵、感想やコツなどたくさん書かれていて、とても素敵なカードになりました。

児童たちの中から、その楽しかった体験を全校に広めようという意見が出てきました。そこで、ルール・やり方、ポイントをグループごとに考え、まとめて、今年の聖徳祭で、生活科の



エコクラブができました

児童の提案で今年度より、エコクラブが発足しました。ペットボトルのキャップと缶のプルタブを集めています。キャップは八百個集めると開発途上国にワクチンを送るの目安が送られてくるので、頑張ろうという気持ちになります。

エコクラブは児童にとって、環境問題や他の国々のことを考える、とても良いきっかけになっていると思います。そして何より素晴らしいのは、このクラブを作ったのが児童自身であるということです。

これからも、児童たちが様々なことに自ら進んで取り組んでいける環境を作っていきたいと思っています。

昭和の時代を体験 四年生社会科見学



九月二十四日(水)、附属小学校の四年生が松戸市立博物館で社会科見学を実施しました。

この社会科見学は、「昔のくらしとまちづくり」の体験学習であると同時に、もう一つの大きな目的がありました。それは、十月の聖徳祭における学習展示発表のレポート作成に向けて、そのための資料集めをすることです。

学習したことや調べたことをレポート形式にまとめて発表するのは、これまでに行ったことがありません。児童たちは初めて挑戦するレポート作りを意識欲を高めながら博物館に出発しました。

展示会場に入ると、児童たちの目が輝き、本の中だけしか見たことのない昭和の道具やおじいちゃん・おばあちゃんから聞いていた光景、または見たことも聞いたこともない道具が、数多く展示されていていました。実際に触って動かせるものもたくさんありました。児童たちは記録カードを手に、我先にと展示物を調査しました。

蚊帳の中に入ってみたい、その様子をカードにまとめたり、一生懸命に昔のさまざまな絵を描いていたり。児童たちは少しでもレポート作成の材料をそろえようと、真剣な眼差しで見学していました。学校に戻った後、いよいよレポート作りが本番です。「とても勉強になったよ」と口々に話す児童たちにとって、とても有意義な社会科見学となりました。

幼稚園短信

地域との交流

八王子中央幼稚園

毎年、勤労感謝の日になみ、近隣の老人ホームへ行っておりましたが、今年度より地域との交流を密にすることを目的として、敬老の日前に幼稚園代表として年長組が公共施設への慰問を二日間に分けて実施いたしました。

一日目の九月八日(月)は、あずみ苑というデイサービス・ショートステイ施設へ行きました。二日目の九月十日(水)は、本園の近くにある永生会永生病院イマジン(在宅で生活できるよう

リハビリテーションに力を入れている施設へ行っていただきました。

たくさんのおじい様おばあ様、職員の方々に温かく迎えていただき、にこにこ笑顔の園児たちでした。「人間っていいな」や、「かわいいうち魚屋さん」ふるさと」の歌のプレゼントをするの涙を流しながらたくさん拍手をして下さったり、その後おじい様・おばあ様と二人組になり握手をし、自己紹介をして手遊びや肩たたきなどを行い、最後にサカホーンを聴いていただきました。すると、おじい様・おばあ様からも歌のプレゼントがあり、「りんごの歌」

と、「赤とんぼ」を歌って下さいました。園児たちは拍手をしながら体を動かしたり、一緒に歌ったりする姿が見られました。最後に一人ひとりの方へプレゼントとペンダントを「いつもでもお元気でいて下さい」と心を込めて渡しました。帰り際には「幸せだったわ」「また来てね」と、バスが見えなくなるまで手を振って下さったり、涙を流しながら、「ありがとう」と、何度もお礼を言ってくれたりしました。帰りのバスの中では「楽しかったね」や、「また、行きたいね」「○○ばあばに、また会いたいな」「いい所だったね」など、大満足の園児たち

と、「赤とんぼ」を歌って下さいました。優しい心、思いやる心が芽生えた、とても大切な日でした。そして私たち職員にとっても心温まる素敵な日となりました。今後も様々な計画、訪問をし、地域との関わりを深めてまいります。



クリスマス会は本当のサンタクロース?!

三田幼稚園

十二月十三日(土)に三田幼稚園ではクリスマス会が行われます。その日は美味しいお弁当を持参しますが、普段給食のため保護者の方も一生懸命にお弁当作りに精を出してくださいませ。幼稚園の松組の保育室を三クラス開放して大きな一つの部屋にして、壁や天井に飾り付けをします。自分で製作した帽子や冠を被り、園児たちも気分はクリスマスモードで盛り上がっています。

先生方と役員のお母様方でキャンドルサービスです。保育室の照明を落とし、ロウソクの火でクリスマスツリーの形になると園児たちも大

喜びです。その後は保育室も明るくして歌を歌ったり、ゲームをしたり、役員のお母様方も園児たちのために練習を重ね、出し物をして下さいます。教諭も寸劇をしたりして楽しく過ごします。楽しく過ごしている間に、いよいよ、サンタクロースの登場です。昔は学園創立者の川並香順先生がリキ(愛犬)の先導でサンタクロースをしてくださったそうです。その後は川並昭昭学長、弘純副学長、芳純校長がサンタクロースをして下さり、現在は専門学校のサポーターセンターの職員が引き継ぎ、サンタクロースは今でも健在です。眉毛がポロリと落ちたハプニングも起こった年もあり、園児たちは半信半疑でありながら「サンタクロースの年は2007歳だって!」と

驚いたり、「寒い北の国から来ましたよ」というお話を耳を傾け、「やっぱり本物だよ、声が寒そうだよ(声が低いと言いたいのかな)と園児の生の声を聞ける楽しいクリスマス会です。



リキ(愛犬)の先導でサンタクロースに扮していた川並香順先生



昨年の様子

「こんなに大きくなりました」 ～秋季大運動会にて～ 附属幼稚園

九月二十八日(日)、聖徳学園創立七十五周年記念秋季大運動会が行われました。「屋外でできる総合的な表現活動」として、主に午前中は各学年の発達段階にあわせた園児たちのプログラム、また、午後は父母や祖父母、兄弟など家族の方も楽しめる競技等を行います。



いよいよ開会式、万国旗がはためく中、元気いっぱい入場行進する園児たちに拍手と声援を送る保護者の方がおられました。数十年前に自分もこの運動会に参加していたという親子二代の方々の顔もみられました。我が子のかっこや遊戯、マスゲーム等どんな思いで見ているのでしょうか。

午後には「こんなに大きくなりました」という卒業生の競技が行われました。多くは卒業して間もない小

学生が参加していますが、今年もあちこちの保護者席から、少し照れながらもお父さんお母さんになった卒業生が参加されました。男女に別れ大きな玉を列の間を転がしたり、頭上に上げたりする競技ですが、先頭と後尾に保護者となった卒業生がついていただいたおかげで、大いに盛り上がり幼稚園の歴史を

感じると共に、学園の創立七十五周年にふさわしい運動会となりました。今後とも「いつもここに元気な子ども」がやがて親となり、一組でも多くの方に幼稚園に来ていただけるよう、日々の保育に努めていきたいと思います。



お父さんお母さんになった卒業生と園長先生

さつまいぼり 附属第一幼稚園

本園では「聖徳子ども農園」で園児たち自身がじゃが芋、さつまいぼりを育て収穫しています。今年年少・年中組のさつまいぼりは十月七日(火)に実施いたしました。

大豊作だった昨年に比べ、残念ながら育ちはあまり良くありませんでした。それでも園児たちは一個ほるごとに「ほれた! ほれた!」と大きな喚声をあげて大喜び。ほった芋を大・中・小と分類しながら箱に入れる姿から、お家の方との試食会を心待ちにしている事がうかがえました。

初めは大好きなさつまいぼりがどのようにできるのか知らなかった園児たちも、自



分たちが実際に育てる事によっていろいろな事を学んだようです。芋を土に埋めて伸びた芽を根元から切つて苗にすること、畝の山に葉を寝かせて植える理由、苗のつけ根からだんだん白い根が出て先がふくら

んで芋になることなど、自分の目で見て、聞いて、触れることで理解が深まりました。農作は手間と時間をかけた貴重な体験学習です。身体だけでなく、心の成長も著しい幼児期。いつ芽が出るのかな? 葉っぱの形は?

いつ、どんな花が咲くんだろう? お芋いっぱいできるかな? そんな園児たちのワクワク、ドキドキする気持ちや探求心など、これからもさまざまな楽しい体験を通して豊かな心を育てていきたいと思っています。

もちつき会 多摩中央幼稚園

二学期最後の行事であるもちつき会。今年十二月九日(火)に行われます。日本古来の伝統行事を経験できる行事の一つで園児たちは臼や杵等の道具の説明や、もちつきの由来の話にも真剣に耳を傾け参加しています。

もちつきの歌を歌ったり、もち米からおもちになつていく様子に驚いたり、匂いや、おもちをつく音を



聞いたりして楽しんでいきます。また、父母の会のお母様につきたてのおもちを園

児たちが食べやすい大きさにちぎり、あんこきなこ・のりの三種類の味付けをし

ていただきます。園児たちはこの様子を見学するといつも「おいしそう!」と思わず手を伸ばしてしまうほど美味しそうな匂いがして、給食の時間を楽しみ待っています。

給食準備の間には、園児たちも実際に杵を持っておもちをつき、杵の重さやもちの伸びる様子を体で感じながらもちつきの雰囲気味わっています。毎年園児たちはもちつきの歌を歌ったり、杵を持つ真似をしながらもちつき会の日を楽しみにしています。

お兄さんお姉さんとの楽しい交流 附属浦安幼稚園

住宅に囲まれた地域にあり、小学校・中学校が隣接しています。九月三十日(火)と十月八日(水)の二日間、浦安幼稚園から歩いて六分位の所にある日の中学校

の二年生が家庭科校外実習として計六十五名の生徒との交流会を実施しました。当日は中学生が到着すると園児たちは「お兄さんが来た」と小躍りして玄関に出迎えました。ホールに集合してから、園側から聖徳学園の歴史と園の教育方針を話した後、中学校の班長さんから「今日は、幼稚園の子と遊べるのを楽しみにし

て来ました。お世話になります」と、丁寧な挨拶をいただきます。オリエンテーションが終わってから、各クラスに中学生が手作りしてきた玩具で遊んだり、肩車をしてもらったり、年長児とトランプをしたりと、園児たちも積極的に関わって遊んでいました。中学生は園児とのかかわりの中で、やさしい言葉遣いや行動する姿が見られました。兄弟姉妹の少ない最近、幼稚園児にとって、この様な機会があることは非常に貴重な体験だと思えます。

帰りは、全園児で花道を作り、中学生のお兄さん、お姉さんに「また来てくださいな」と声をかけたり、握手をして感謝の気持ちで見送りました。

第二回入園説明会 附属第三幼稚園

秋色に輝いた青空の十月十八日(土)、第二回目の入園説明会が行われました。

年長児が役割り分担を決めて、切符売り場、改札係、列車係を進めていきます。待合室まで年長児が列車でご案内します。ホールで園長先生と事務長の挨拶の後、公開保育を見ていただき、保護者の方々に大変喜んでいただけたと思えます。年少組は「うたと楽器遊び」、カスターネットとすずの指導です。少し緊張気味だった園児たちです。年中組は「みんなで楽しく踊ろう」、ダンスをす

る時の手足の動きの指導です。年長組は「運動遊び」、跳び箱を跳び越す事ができるまで指導します。最後は隊形変化とメイポールをお見せし、たくさんの拍手をいただきました。とても短い時間ではありましたが、保護者の方々には年齢別の動き、幼稚園児の生活の一端を見てご理解をいただいたように思います。各教室へのご案内は、うさぎ、ねこ、ねずみの列車に乗って、アンパンマンのかぶり物、ハートの腕輪、動物ペンダント、風船をお土産に貰い「また、来るね」と嬉しそうに帰る子が多く見られ、聖徳第三幼稚園への期待が高まり、説明会の成果が表れることを願っています。

平成21年度 入試日程

聖徳大学大学院通学課程[共学/昼・夜開講]
<専門職学位課程(教職大学院の課程)>

Table with columns: 入試区分・日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include 一般入試, 社会人特別入試, 現職教員特別入試.

<博士前期課程>

Table with columns: 入試区分・日程, 願書受付期間, 入試日. Row: 一般入試・社会人特別入試・私費留学生特別入試.

*音楽文化研究科は2/14(土)も入試あり(2日間実施)。

<博士後期課程>

Table with columns: 入試区分・日程, 願書受付期間, 入試日. Row: 一般・社会人入試.

*音楽文化研究科は2/14(土)も入試あり(2日間実施)。

聖徳大学児童学部(女子)・人文学部(女子)・音楽学部(女子)・
聖徳大学短期大学部(女子)

Table with columns: 入試区分・日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include AO入試, 公募推薦入試, 自己推薦入試, etc.

*1/25(日)地区・ターミナル試験場にて実施あり。

聖徳大学文学部編入学(女子) 聖徳大学短期大学部専攻科(女子)

Table with columns: 対象, 入試区分・日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include 編入学, 専攻科.

聖徳大学幼児教育専門学校(女子)

Table with columns: 入試区分・日程, 事前相談(予備面談), 願書受付期間, 最終試験. Rows include AO入試, 推薦入試, 一般入試.

聖徳大学附属中学校(女子)・聖徳大学附属高等学校(女子)

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows include 中学, 高校.

聖徳大学附属聖徳中学校(女子)・聖徳高等学校(女子)

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows include 中学, 高校.

聖徳大学附属小学校(共学)

Table with columns: 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Row: 一般入試第II期.

平成20年度 冬期SOA公開講座のご案内

聖徳大学オープンアカデミー(SOA)では、冬期(Ⅲ期1~3月)にバリエーション豊かな約160の講座を開講いたします。

- ・開設ジャンル 語学、文学、芸術・文化、健康・スポーツ、情報・ビジネス
料理、社会・福祉、生活・環境、教育・心理、特設講座
・申込受付開始 12月11日(木)より



親子お菓子講座の様子

Table with columns: 講座名, 新規の開講予定講座より, 講師名. Rows include 音楽の香りは大気の中を漂う, アサーティブネス心理学, etc.

以上は抜粋で、ほかにも様々な講座を開講します。 *詳細は生涯学習課 047-365-3601までお問い合わせください。

冬休みの旅行はかすが荘をご利用ください!

信州春日温泉 かすが荘 長野県佐久市春日2258-1

寒い冬には温泉が一番です。湯冷めしにくいと評判のかすが荘の温泉に浸れば、身体の芯まで温まります。



現在実施中の特別プラン [12月29日(月)まで]

Table with columns: 平日限定宿泊プラン, 連泊プラン, 日帰りプラン. Rows include 1名様 1泊2食付 8,500円, etc.

嬉しい特典: チェックアウト後12時まで特別室でご休憩いただけます(ご予約時にお申し付けください)

嬉しい特典: 体育館、プール、テニスコートが無料にてご利用いただけます。

共通の特典: ①6名様以上のお客様、佐久平駅より無料にて送迎いたします。②飲み放題通常2,500円を2,000円に!

*各プランの詳細等はフロントにご確認ください。

ご予約・お問い合わせは現地フロント係が承ります。お気軽にお問い合わせください! Tel. 0267-52-2111

施設の詳細等は本学園HPでご覧いただけます。どうぞご覧ください! http://www.seitoku.jp/gakuen/house/

聖徳学園創立75周年 記念行事のご案内

聖徳学園創立75周年記念特別展覧会
源氏物語千年紀 王朝文化の世界展
会期:平成20年12月20日(土)まで 午前9時~午後5時

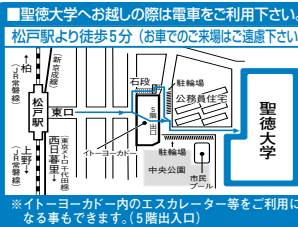


「源氏物語」かるた 江戸時代 「源氏物語」屏風(部分) 江戸時代

源氏物語千年紀

【お問い合わせ】

聖徳大学川並記念図書館
〒271-8555 松戸市岩瀬550番地
Tel.047-365-1111(大代)



*イトーヨーカドー内のエスカレーター等をご利用になる事もできます。(5階出入口)

平成21年 2月28日(土)
聖徳大学児童学研究所「子どもの発達シンポジウム」
<聖徳大学川並香順記念講堂>

平成21年 3月
1号館竣工
予定
(平成20年12月1日現在)



学校法人 東京聖徳学園

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)
発行人/川並弘昭 編集/企画渉外課



この印刷物は大豆油を主成分とした環境にやさしいインクを使用しています。

08.12.1レ(25.5+1.8)



Dare to Dream SEITOKU 75th

読者の欄

学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。聖徳フラッシュは皆様の広報誌です。

<アンケートURL> http://www.seitoku.jp/gakuen/flash/index.html

<ご意見・感想の宛先>

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園 「聖徳フラッシュ」係まで
(インターネットからは http://www.seitoku.jp/gakuen/toiwase/ の「その他のご意見・お問い合わせ」まで)